

2010年(平成22年)11月27日(土曜日)

# 負債5億2000万円株式化

## 箕面市3セク 特定調停 市、弁済計画提案へ

箕面市が出資する第3セクター「箕面都市開発」(南

富治社長)が市を相手に申し立てた特定調停で、市は26日、地裁から提示された調停案を30日開会の12月定例会に提案することを明らかにした。

調停案などによると、市の貸付金残高は約9億76

00万円。このうち5億2000万円を株式化して市が保有することで、同社の負債を圧縮してバランスシートを改善させ、残りの債務については2029年まで毎年1000万円ずつ弁済する。市は、同社が完済した後、株式の買い取り請求を順次行う。同社は阪急箕面駅前にある再開発ビルの一部区画や、同駅周辺に

約1500平方メートルの土地を所有しており、経営破綻すれば駅前商業への影響が懸念される。債権の株式化で全額回収も見込めることから、市は調停案を受諾する方向で市議会に提案、了承を得ることにした。

記者会見した倉田哲郎市長は、「今回の弁済計画は、かなり現実的。これで決着したい」と話した。